

2026年3月期

第3四半期 決算説明資料

(コード:416A)

富士ユナイトホールディングス株式会社 (上場廃止となった子会社：富士興産株式会社)

01 長期ビジョンと次なる成長に向けた戦略

VISION

環境のグリーン化対応とエネルギーの安定供給を通じて
社会に貢献するグループであり続ける

VISION

STRATEGY

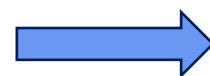
- ①積極的な投資によるリサイクル事業の「拡大」
- ②環境対応型エネルギーのコアビジネス化の「加速」
- ③着実な事業戦略の「推進」

STRATEGY

「グリーン」「エネルギー」「インフラ」の3つの新たな領域に再編し、富士ユナイトグループは更なる成長ステージへの挑戦を開始しました。

再編した各事業領域へ経営資源を最適に配分することによって、持続的な成長を加速させ、グループ価値の最大化を目指します。

領 域	環境開発工業	富士ホームエナジー	富士興産	加島	富士レンタル
グリーン	○ リサイクル	○ ホームエネルギー	○ 再生可能エネルギー	○ リサイクル	
エネルギー			○ 石油	○ 石油	
インフラ					○ レンタル



持株会社体制への移行を機に、グループの持続的成長に向けた新中期経営計画を策定中。2026年5月発表予定。

加島は、株主取得により2025年10月2日付で当社のグループ会社となりました。
2026年3月期 第3四半期より連結対象(第3四半期決算数字に含まれている)となり、
エネルギー領域(石油事業)およびグリーン領域(リサイクル事業)を担っていきます。

＜現行の事業＞
燃料油配送事業による安定収益を基盤とする事業会社

＜今後の事業強化方針＞
廃油回収、バイオ燃料/再生燃料の供給、油漏洩事故対応(環境リサイクル事業)などの
グリーン領域事業の拡大に注力していく

～未来を支える、燃料ソリューション～



領 域	加島
グリーン	○ リサイクル (強化領域)
エネルギー	○ 石油 (安定収益基盤)

02 2026年3月期 第3四半期 決算内容

2026年3月期（4－12月）決算ハイライト

2026年3月期（4－12月）実績

経常利益

777 百万円

4-12月計画比（**114%**）

当期純利益

515 百万円

（**118%**）

2026年3月期（4－12月）計画

経常利益

680 百万円

800百万円(通期計画)

当期純利益

435 百万円

500百万円(通期計画)

✓ グリーン領域のリサイクル事業、
ホームエネルギー事業、
インフラ領域のレンタル事業が
好調に推移し、
経常利益 計画比114%、
純利益 計画比118%となった

2026年3月期（4－12月）決算概要 ～3領域 5事業～

（単位：百万円）

2026年3月期
4-12月決算実績

2026年3月期
4-12月決算計画

達成率

2025年3月期
4-12月決算実績

前年対比

売上高

54,490

62,750

87%

49,884

109%

営業利益

773

680

114%

675

115%

グリーン領域

リサイクル
ホームエネルギー
再生可能エネルギー

258

160

161%

-

-

エネルギー領域

石油

202

280

72%

-

-

インフラ領域

レンタル

436

340

128%

-

-

全社共通費用

（M&A関連費用を含む）

▲124

▲100

-

-

-

経常利益

777

680

114%

695

112%

純利益

515

435

118%

465

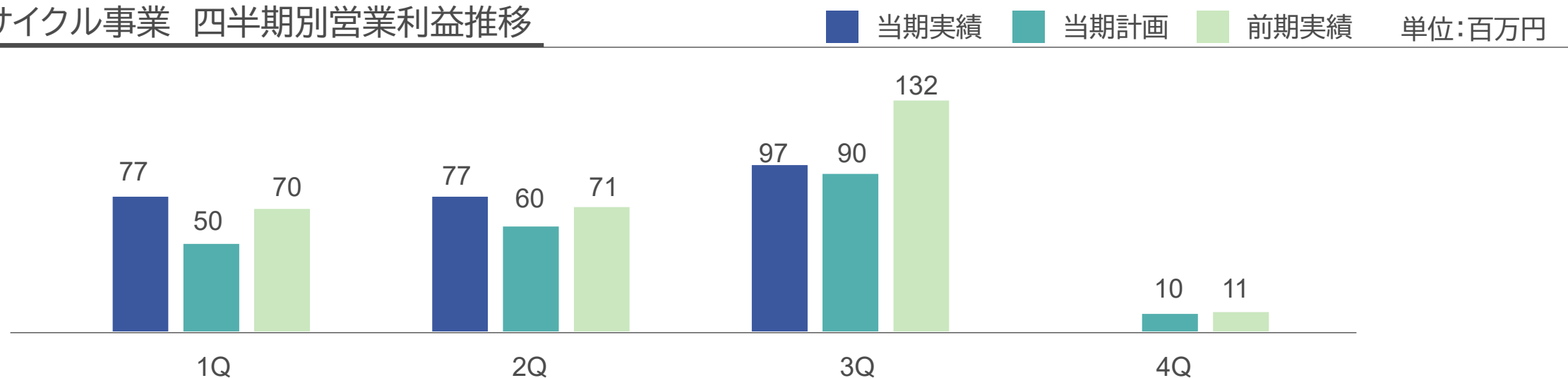
111%

営業利益 **258** 百万円
 （計画比 +98百万円）

➡ リサイクル事業 251百万円
 （計画比 +51百万円）

- 資源リサイクル事業は物量減少の影響はあったものの、鉄スクラップ単価の改善や費用抑制もあり、利益計画を上回った
- オイルリサイクル事業は販売単価の改善により数量減少を補完し、利益計画を上回り、安定的な収益を確保した
- 環境リサイクル事業は完成工事高の計上時期ずれにより、当期の売上および利益計画は未達となった

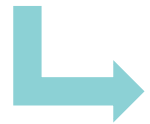
リサイクル事業 四半期別営業利益推移



営業利益

258 百万円

（計画比 +98百万円）

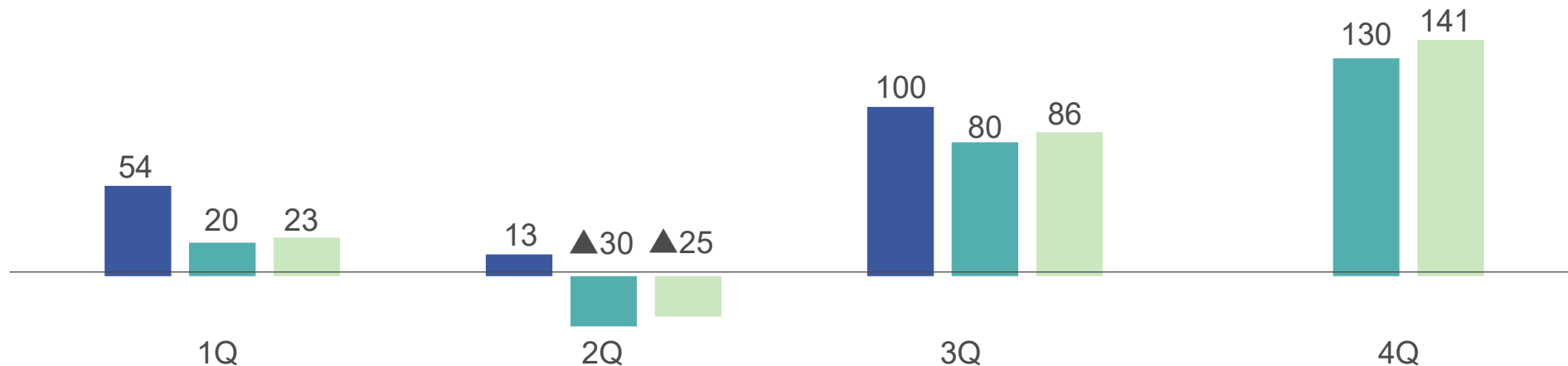


ホームエネルギー事業 167百万円
（計画比 +97百万円）

- LPG、灯油、住設機器分野は、新規取引先の獲得および需要拡大による販売増加で、利益計画を上回った
- LPGを中心に適正販売価格の構築により、収益基盤の強化に繋がった
- 効率的な新規投資および営業投資の見直しにより、投資コストの削減を実現

ホームエネルギー事業 四半期別営業利益推移

■ 当期実績 ■ 当期計画 ■ 前期実績 単位:百万円



営業利益 **258** 百万円

(計画比 +98百万円)

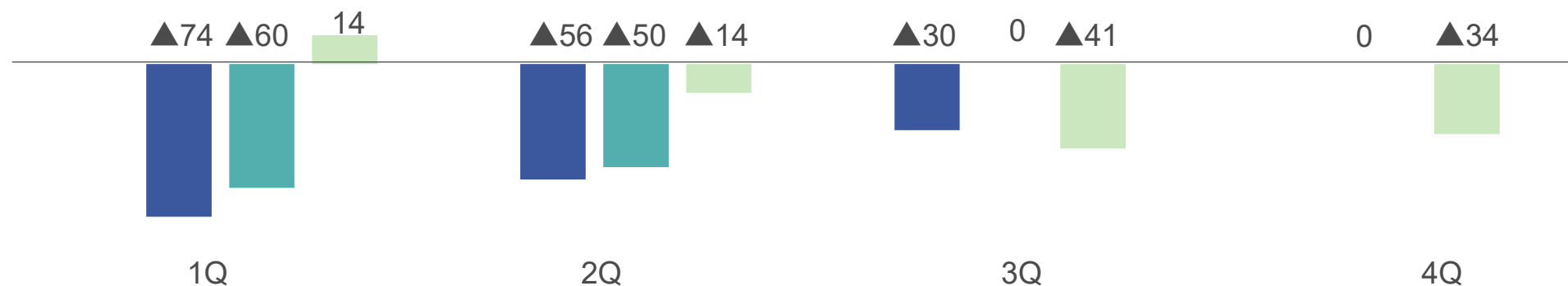


再生可能エネルギー事業 ▲160百万円
(計画比 ▲50百万円)

- バイオ燃料は、設備コスト負担の増加により、利益は計画未達となったが、建設現場向けを中心に販売数量は増加した。
- メガソーラーは、1Qの修繕や出力抑制の影響、3Qの天候影響により、利益計画を下回った

再生可能エネルギー事業 四半期別営業利益推移

■ 当期実績 ■ 当期計画 ■ 前期実績 単位: 百万円



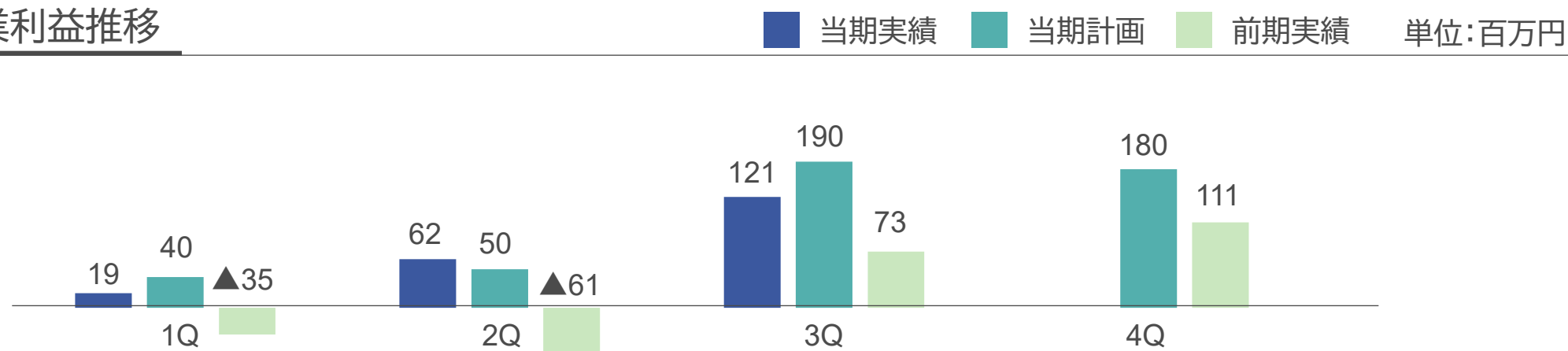
営業利益

202 百万円

（計画比 ▲78百万円）

- 燃料油は、市況の悪化により、利益計画を下回った
- アドブルーは、カーショップ、ホームセンターなどの小売店向けの販売を強化したことにより、利益計画を上回った

四半期別営業利益推移



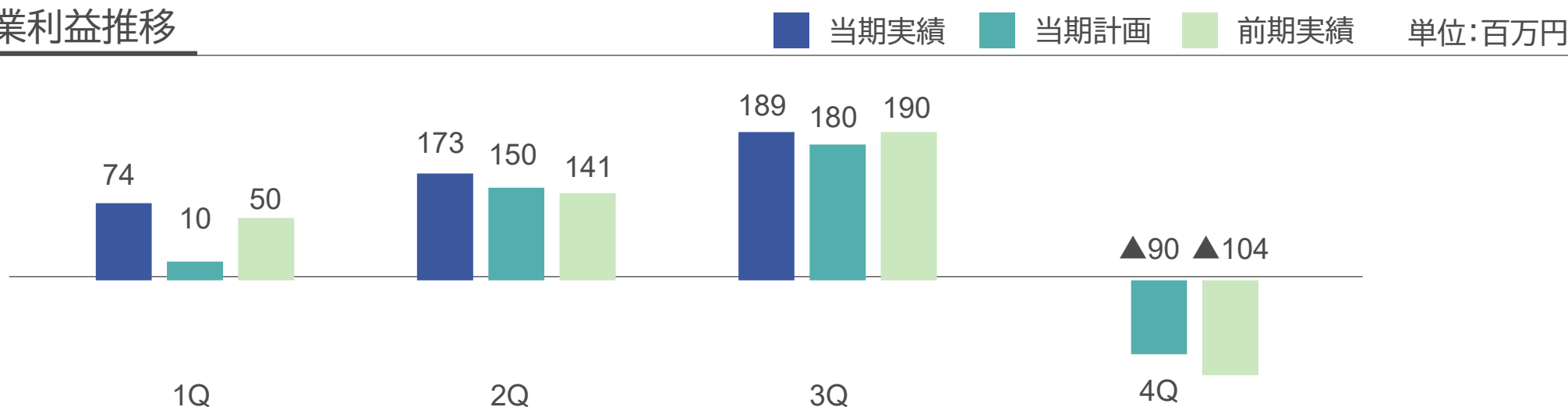
営業利益

436 百万円

(計画比 +96百万円)

- 建機レンタルは、民間の解体工事需要が好調に推移する中、修理費の削減や、外注・自社修理の見直しを進めたことにより、収益性が向上し、利益計画を大幅に上回った
- 公共工事需要が堅調に推移した
- 新たな領域における顧客開拓も積極的に実施中

四半期別営業利益推移

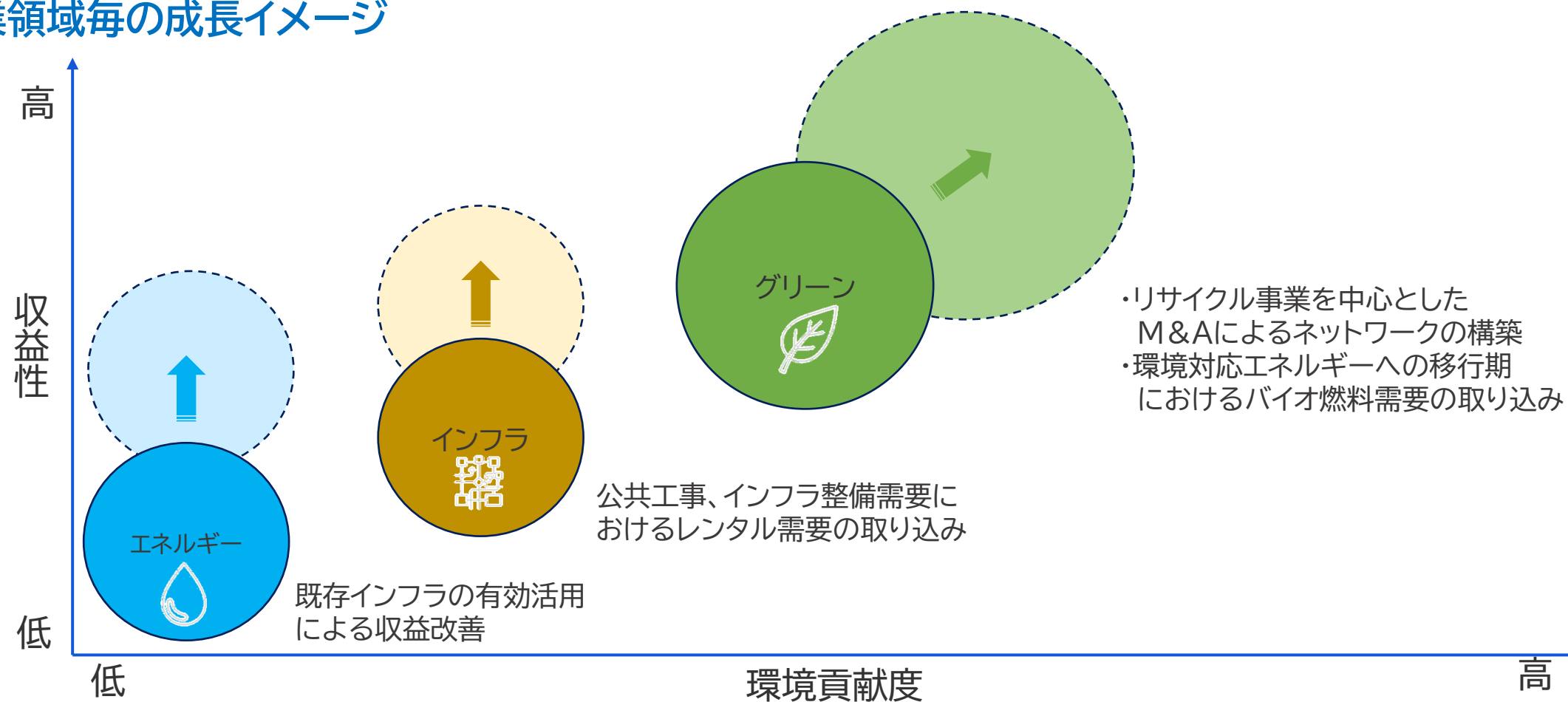


	単位	中間	期末(予想)	合計
純利益	(百万円)	286	500	500
配当総額	(百万円)	204	204	409
配当単価	(円/株)	31	31	62
対象株数	(千株)	6,588	6,588	-
自己株式取得	(百万円)	-	-	-
総還元額	(百万円)	-	-	409
総還元性向		-	-	81.7%

新たなステージへ ～富士ユナイトグループの成長ビジョン～

持株会社体制への移行により、「富士ユナイトグループ」として新たなスタートを切りました。
グループの結束＝ユナイトにより、次のステージへと成長してまいります。

事業領域毎の成長イメージ



- ・資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は一切責任を負いかねます。
- ・当資料に記載されている当社の現在の計画等は、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらにより将来予測・業績予想には、リスクや不確定な要因を含んでおります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。